

○報告書インスタンス作成ガイドライン 新旧対照表

新					旧				
5-4-2 コンテキスト ID の選択 (略)					5-4-2 コンテキスト ID の選択 (略)				
図表 5-4-5 コンテキストの選択					図表 5-4-5 コンテキストの選択				
対象		コンテキストIDの選択		備考	対象		コンテキストIDの選択		備考
		連結又は個別の別 ○:あり ×:なし	期間又は時点				連結又は個別の別 ○:あり ×:なし	期間又は時点	
様式 ツリー	経理の状況以外	×	提出日		様式 ツリー	経理の状況以外	×	提出日	
	経理の状況	×	会計期間			経理の状況	×	会計期間	
詳細 ツリー	主要な経営指標等の推移	○	会計期間末/会計期間		詳細 ツリー	主要な経営指標等の推移	○	会計期間末/会計期間	
	従業員の状況	○	会計期間末	注1		従業員の状況	○	会計期間末	注1
	研究開発活動	×	会計期間			研究開発活動	×	会計期間	
	設備投資等の概要	×	会計期間			設備投資等の概要	×	会計期間	
	発行済株式、株式の総数等	×	提出日			発行済株式、株式の総数等	×	提出日	
	所有者別状況	×	会計期間末	注1		所有者別状況	×	会計期間末	注1
	大株主の状況	×	会計期間末	注1		大株主の状況	×	会計期間末	注1
	発行済株式、議決権の状況	×	会計期間末	注1、2		発行済株式、議決権の状況	×	会計期間末	注1、2
	自己株式等	×	会計期間末	注1、2		自己株式等	×	会計期間末	注1、2
	配当政策	×	提出日			配当政策	×	提出日	
	役員の状況	×	提出日			役員の状況	×	提出日	
	(削除)					(追加)			
	監査の状況	×	会計期間			経理の状況	○	会計期間末/会計期間	
	役員の報酬等	×	会計期間			独立監査人の報告書	×	提出日	
	株式の保有状況	×	会計期間末/会計期間						
	経理の状況	○	会計期間末/会計期間						
	独立監査人の報告書	×	提出日						

新	旧
<p><b>5-6-2-3 「- (バー)」の設定</b></p> <p>詳細タグ付け対象の数値項目に対して、数値が存在しない又は端数処理以前にゼロである場合に記載する「-(バー)」をタグ付けするには、次の図表のように、ix:nonFraction 要素を使用し、xsi:nil 属性の値に「true」を指定します。</p> <p>(略)</p> <p>なお、詳細タグ付け対象の数値項目に対して、数値が存在するが、何らかの理由で数値の記載が省略されている場合は、詳細タグ付けも省略してください。</p> <p><b>5-6-3-2 テキストブロック</b></p> <p>(略)</p> <p>➔ <b>【経理の状況】中の様式ツリーのテキストブロック</b></p> <p><b>【経理の状況】</b>中の様式ツリーのテキストブロックは、当会計期間（有価証券届出書においては、直近事業年度。本章中において以下同じ。）及び比較対象会計期間（有価証券届出書において最近2事業年度について記載する場合は、前事業年度。本章中において以下同じ。）の両方の記載を当会計期間のコンテキスト ID でタグ付けします。ただし、当会計期間と比較対象会計期間とで異なる要素を用いる必要がある場合には、異なるコンテキスト ID でタグ付けすることも可能です。</p> <p>株主資本等変動計算書は、前期及び当期の二つの表で記載されますが、<u>上のルールに従い、当会計期間のコンテキスト ID を用いて一塊でタグ付けしてください。</u></p> <p>➔ <b>【経理の状況】中の詳細ツリーのテキストブロック</b></p> <p><b>【経理の状況】</b>中の詳細ツリーのテキストブロックは、原則として当会計期間及び比較対象会計期間の両方の記載を当会計期間のコンテキスト ID でタグ付けします。ただし、可能な場合には、当会計期間及び比較対象会計期間のそれぞれの記載をそれぞれのコンテキスト ID でタグ付けすることも可能です。次の図表は、当会計期間と比較対象会計期間のコンテキスト ID でそれぞれタグ付けできる事例を表しています。</p> <p><b>5-6-4 Transformation Rule について</b></p> <p>(略)</p> <hr/> <p>その他の Transformation Rule</p> <hr/> <p>その他の Transformation Rule は、『Inline XBRL Transformation Rule Registry 2』(<a href="https://specifications.xbrl.org/work-product-index-inline-xbrl-transformation-registry-2.html">https://specifications.xbrl.org/work-product-index-inline-xbrl-transformation-registry-2.html</a>)にあるとおりです。</p> <hr/>	<p><b>5-6-2-3 「- (バー)」の設定</b></p> <p>数値項目に対して、<u>値を指定しない状態を意味する「-(バー)」を表現するには、次の図表のように、ix:nonFraction 要素を使用し、xsi:nil 属性の値に「true」を指定します。</u></p> <p>(略)</p> <p>(追加)</p> <p><b>5-6-3-2 テキストブロック</b></p> <p>(略)</p> <p>(追加)</p> <p><b>【経理の状況】</b>中の様式ツリーのテキストブロックは、当会計期間（有価証券届出書においては、直近事業年度。本章中において以下同じ。）及び比較対象会計期間（有価証券届出書において最近2事業年度について記載する場合は、前事業年度。本章中において以下同じ。）の両方の記載を当会計期間のコンテキスト ID でタグ付けします。ただし、当会計期間と比較対象会計期間とで異なる要素を用いる必要がある場合には、異なるコンテキスト ID でタグ付けすることも可能です。</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p><b>【経理の状況】</b>中の詳細ツリーのテキストブロックは、原則として当会計期間及び比較対象会計期間の両方の記載を当会計期間のコンテキスト ID でタグ付けします。ただし、可能な場合には、当会計期間及び比較対象会計期間のそれぞれの記載をそれぞれのコンテキスト ID でタグ付けすることも可能です。次の図表は、当会計期間と比較対象会計期間のコンテキスト ID でそれぞれタグ付けできる事例を表しています。</p> <p><b>5-6-4 Transformation Rule について</b></p> <p>(略)</p> <hr/> <p>その他の Transformation Rule</p> <hr/> <p>その他の Transformation Rule は、『Inline XBRL Transformation Rule Registry 2』(<a href="http://www.xbrl.org/Specification/inlineXBRL-transformationRegistry/PR-2011-07-06/inlineXBRL-transformationRegistry-PR-2011-07-06.zip">http://www.xbrl.org/Specification/inlineXBRL-transformationRegistry/PR-2011-07-06/inlineXBRL-transformationRegistry-PR-2011-07-06.zip</a>)にあるとおりです。</p> <hr/>